

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

京田辺市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

京都府京田辺市

### 3 地域再生計画の区域

京都府京田辺市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市は、京都市・大阪市・奈良市の3都市を結ぶ三角形のほぼ中心に位置しており、大阪と奈良を結ぶ JR 片町線、京都と奈良を結ぶ近鉄京都線が通っている。また、第二京阪道路や京奈和自動車道などの広域幹線道路にも恵まれ、高い交通利便性がある。加えて、本市内には、生活環境保全林である甘南備山や市街地を覆う農地など豊かな自然環境がある。

本市の人口は、昭和 40 年（1965）以降、大規模な住宅地開発などにより急激に増加し、平成 27 年国勢調査では 70,835 人となり、現在も増加傾向にある。しかしながら、本市の独自推計では、令和 12 年（2030）の 77,966 人をピークに緩やかな人口減少に転じる見込みである。また、老年人口の増加は着実に進んでおり、平成 17 年（2005）には、高齢社会（老年人口比率 14～21%）となり、特に、早い時代に開発された住宅団地では、老年人口の比率が 40%を超えるなど急激に高齢化が進行している。また、合計特殊出生率は、全国平均よりも低いレベル（1.41）であり、宅地開発による子育て世代の転入（社会増）も令和 10 年（2028）頃までの見込みである。

人口減少と少子高齢化の進行等により、中心市街地をはじめとしたまちなかでの賑わいの低下が想定されるとともに、住民の転出や空き家が発生し、従来からの市街地の空洞化が懸念される。

これらの課題に対応するため、次の基本目標を掲げ、若い世代が安心して、希望

する結婚や出産、子育てができるよう、子育て支援や教育を充実し、ワーク・ライフ・バランスのとりやすい環境を整え、自然増につなげる。また、本市の強みである交通利便性や豊かな自然環境を生かし、高い生活サービス機能を持つコンパクトシティを形成し、持続可能なまちづくりを通じて、社会増を維持する。さらに、多様な自然に親しめる環境づくりやまちの魅力や文化に触れ楽しめる機会を増やすなど、次世代を担う子どもたちにとって誇りとなる、自然豊かで魅力あふれる「ふるさと京田辺」を創造し、定住意向を高める。

- ・基本目標1 子どもを生き育てやすく、誰もが活躍できるまちづくり
- ・基本目標2 地域経済を活性化させ、職・住が近接した働きやすいまちづくり
- ・基本目標3 京田辺へ新たな人の流れをつくるまちづくり
- ・基本目標4 持続可能で個性と魅力にあふれ、安心して暮らせるまちづくり

#### 【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.41	1.6	基本目標1
イ	従業者数	23,632人	24,800人	基本目標2
ウ	観光入込客数	310千人	800千人	基本目標3
	観光消費額	7.4億円	10億円	
エ	定住意向に関する 市民満足度	66.2%	75%	基本目標4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

## ① 事業の名称

京田辺まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 子どもを生き育てやすく、誰もが活躍できるまちづくり事業
- イ 地域経済を活性化させ、職・住が近接した働きやすいまちづくり事業
- ウ 京田辺へ新たな人の流れをつくるまちづくり事業
- エ 持続可能で個性と魅力にあふれ、安心して暮らせるまちづくり事業

## ② 事業の内容

### ア 子どもを生き育てやすく、誰もが活躍できるまちづくり事業

若い世代の多様なライフデザインの選択を可能にする、子育て環境や男女ともいきいきと働ける環境をつくり、子育てを地域で応援する環境をつくることで、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

また、子どもの個性や能力を伸ばせる充実した教育環境を整備し、心豊かな子どもを育てる教育を推進する。

さらに、若者や女性、高齢者や障がいのある人など、だれもが充実したワーク・ライフ・バランスを実現できるよう支援する。

#### 【具体的な取組】

- ・ワーク・ライフ・バランス及び女性活躍の促進
- ・子育てをしながら働きたい人への就業支援 等

### イ 地域経済を活性化させ、職・住が近接した働きやすいまちづくり事業

京田辺の高い交通利便性を生かし、だれもが能力を生かして活躍できるよう、就業・社会参加を支援する。

高速道路ネットワークのハブ的な立地や学研都市の特色を生かした産業振興や事業活動を行いやすい環境整備により、安定した雇用の確保に努め、地域経済の活性化を図る。

#### 【具体的な取組】

- ・大学・研究機関と連携した新産業創出・起業の環境整備・交流促進
- ・創業支援体制の構築と相談窓口の開設 等

### ウ 京田辺へ新たな人の流れをつくるまちづくり事業

歴史・文化など地域の特色を生かした観光の振興や、広域的な地域づくり、地域間交流の推進により、新しい人の流れをつくる。

【具体的な取組】

- ・お茶の文化・魅力を体感する交流圏の形成
- ・観光振興拠点の環境整備や機能強化 等

**エ 持続可能で個性と魅力にあふれ、安心して暮らせるまちづくり事業**

持続可能で個性と魅力あふれる地域づくりを推進し、まちへの誇りと愛着をもち、将来にわたって安全・安心に暮らせるまちをつくる。

【具体的な取組】

- ・学術研究都市エリアの整備
- ・生活利便性の高いコンパクトシティの形成 等

※ なお、詳細は第2期京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

5,000千円（2020年度～2024年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度9月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、速やかに京田辺市公式ホームページ上で公表する。

**⑥ 事業実施期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで

**6 計画期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで